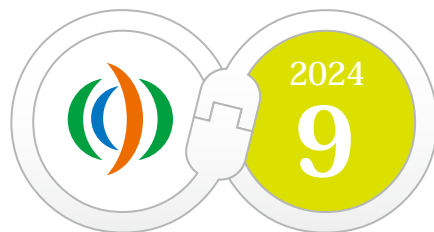


も あ
more

広報

ゆざわ



もっと写真でつながる「more Connect (もあコネクト)」

Connect

Vol. 377 extra



- ◆ 高校生による市長への提言
- ◆ 二十歳を祝う会
- ◆ 皆瀬 Smile レストラン
- ◆ サマーミュージックフェスティバル2024
- ◆ 日展作家と子どもたちの絵画教室



高校生による 市長への提言

2024.8.2



まちづくり活動や地域活性化策などに興味・関心を持つきっかけづくりを目的とした、高校生による「市長への提言」が市役所本庁舎で開催されました。

湯沢高等学校と湯沢翔北高等学校の代表者8人の「市長への提言」を紹介します。

VRやARを地域事業で活用

市長への提言

VR、ARを湯沢市のPRや疑似観光などに活用する

▶ VR（Virtual Reality：仮想現実）、AR（Augmented Reality：拡張現実）を使うことで、湯沢市のPRや疑似観光などに活用し、活性化につなげることが可能ではないか。

▶ VRやARは生活の身近なところで活用されていることから、地域事業に利用できる。

活用例 VR…医療、自動車教習など

AR…位置情報ゲームアプリ、災害シミュレーション



他市町村のVR活用状況を調査



湯沢翔北高等学校3年

こみなみ あすか

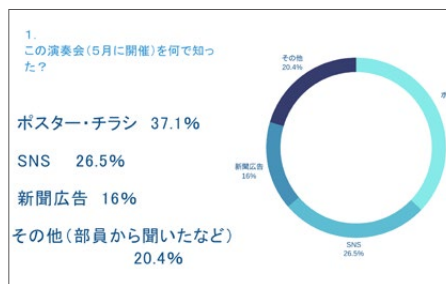
小南 飛鳥さん

音楽の力で 湯沢を活性化

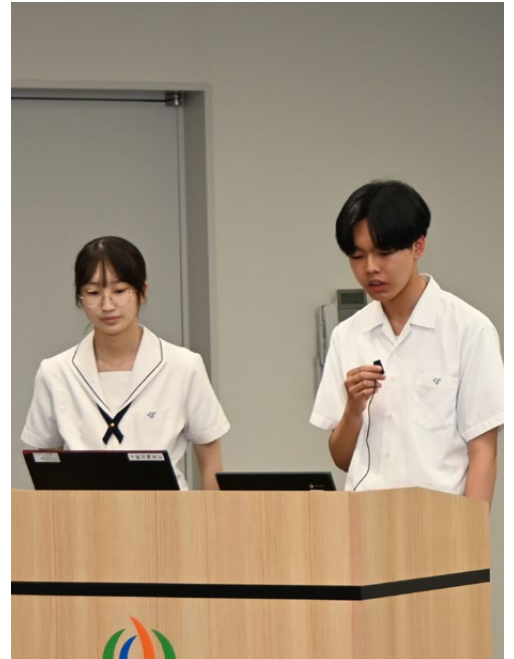
市長への提言

今以上に音楽を使って、地域の活性化につなげる

- ▶そもそも湯沢市の音楽事業を知らない、地域みんなが音楽に興味ないなどの課題がある。
- ▶ポスター、チラシ、SNSを中心に宣伝活動をし、認知度の拡大を図る。
- ▶さまざまなジャンルの演奏会の開催、ホールの市民開放など、みんなが楽しめるイベントを企画する。



演奏会を観に来てくれた人を対象にアンケートを実施



湯沢翔北高等学校3年

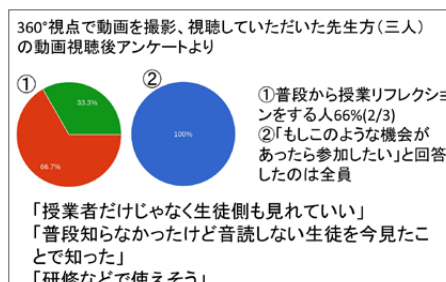
こみなみ はな すが そうご
小南 花さん 菅 壮吾さん

教師が360° VRを使って生徒の学習意欲向上につなげる

市長への提言

360° 視点の授業動画による最先端の授業リフレクションの導入

- ▶教師自身の自己評価や、授業を受ける生徒の様子を3Dカメラで撮影し、その動画をVRで教師が見ると、良い授業作りやリフレクションの参考になるのではないかな。
- ▶先生方に検証してもらい、先生と生徒にアンケートを実施したところ、大多数が導入の必要性を感じていた。肖像権の問題などもあるが、許可を取り、ガイドラインを定めるなどすれば、研修や公開授業にも活用が可能。



先生方が実践後、検証



湯沢高等学校3年

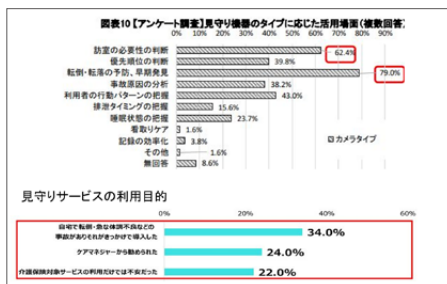
しばた かほ
柴田 佳歩さん

IoTセンサの活用で高齢者の孤立を解決

市長への提言

IoTセンサの効果を実際に体験し理解する機会を設ける

- ▶ 冷蔵庫にIoTセンサを設置し、扉の開閉による庫内の湿度の変化を記録することで、離れて暮らす高齢者の状況が把握できる。
- ▶ 現状、認知度が低いので、IoTセンサを紹介するポスターの作成や、1週間お試し利用体験など、効果を実際に体験し、理解する機会を設ける。



見守りサービス利用目的のアンケート調査



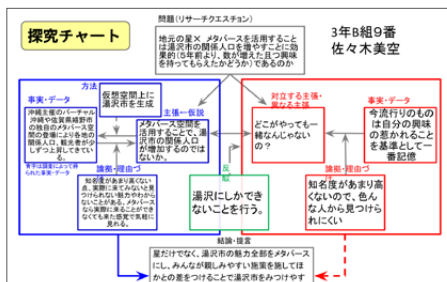
湯沢高等学校3年
よしだ ひまり
吉田 陽葵さん

メタバースを活用した関係人口の増加について

市長への提言

メタバース（仮想空間）上に湯沢市を生成する

- ▶ 沖縄県や佐賀県では、独自のメタバースにより、関係人口、観光客が少しずつ増加してきている。
- ▶ メタバースの中に、湯沢の星空や観光名所を映し出し、特産品の販売やイベントなど、みんなが親しみやすい施策でほかのメタバースとの差別化ができれば、湯沢市を見つけやすくなり、関係人口が増加するきっかけになるのではないかな。



問題に基づき探究チャートを作成



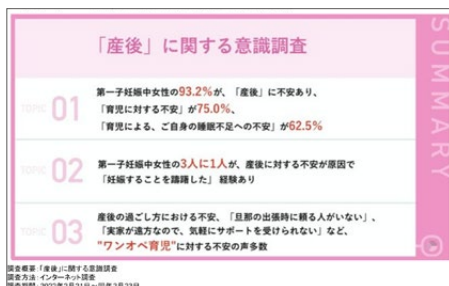
湯沢高等学校3年
ささき みく
佐々木 美空さん

特定妊婦が減少すると出生率が高くなるのではないかな

市長への提言

広報活動と支援制度を強化し、出産と育児に対する安心と安全を提供する

- ▶ 特定妊婦（予期せぬ妊娠や貧困、DVなどで子どもを育てるのが難しく、出産前から支援が必要な方）減少のために予防や支援を行い、抱えている問題を解決すれば、日本の出生率を上げることができないのではないかな。
- ▶ 「この地域でなら安心して子育てができる」と感じる女性が増え、出産や育児へのイメージアップにつながれば、出生率が増加すると考えられる。



対立・異なる主張に関する調査データを収集



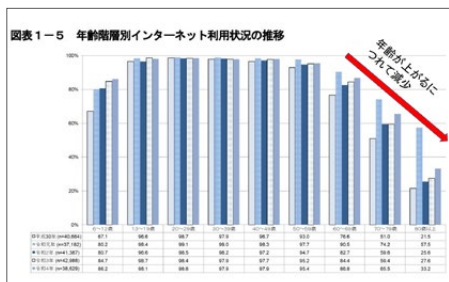
湯沢高等学校3年
つちや あ い み
土谷 愛唯美さん

在宅医療における、ICTを活用した多職種連携の情報共有

市長への提言

ICTを活用した情報共有により、在宅医療に関わる家族の負担を軽減する

- ▶ ICTを活用した情報共有は、多職種連携（医療や介護福祉に関わるさまざまな専門職種が互いの専門性を生かし、一つのチームとして地域に働きかけること）を正確に、かつ簡単にできるのではないかな。
- ▶ 誰もが使いやすい、操作が簡単な機器などにより、情報共有が正確で簡単になれば、多職種連携が促進され、在宅医療に関わる家族の負担軽減につながる。



国の調査データを基に分析



湯沢高等学校3年
さ さ き ゆ う き
佐々木 優希さん



二十歳を祝う会

2024.8.15







皆瀬 Smile レストラン

2024.7.29-31





サマーミュージックフェスティバル 2024

2024.8.3-4





日展作家と子どもたちの絵画教室

2024.8.6



